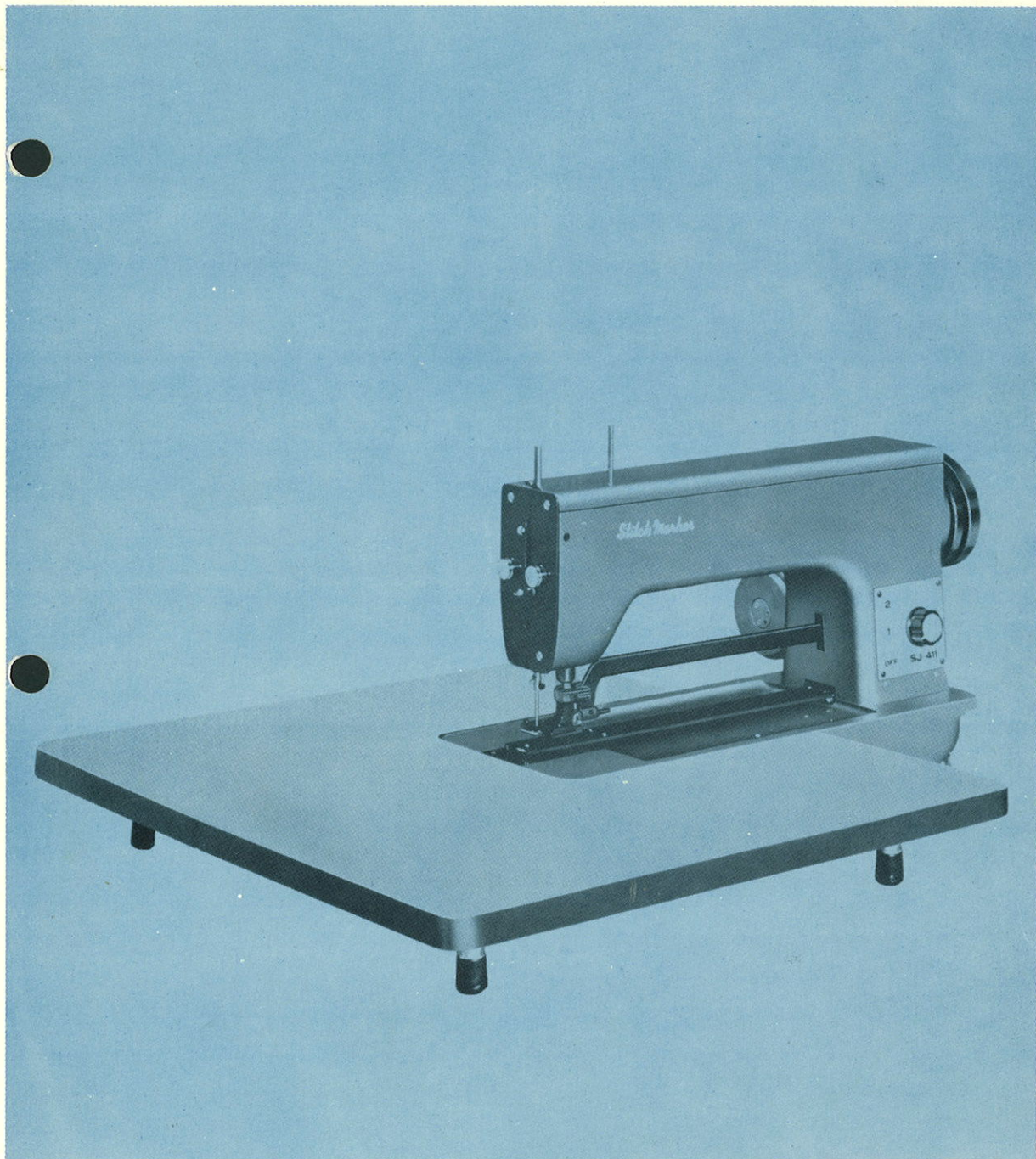


# ステッチマーカ

きりびつけミシン

SJ-411

使用説明書



# ステッチマーカ―機械部分名称

糸案内棒

上面カバー

針棒

天秤

糸調子

面板糸掛

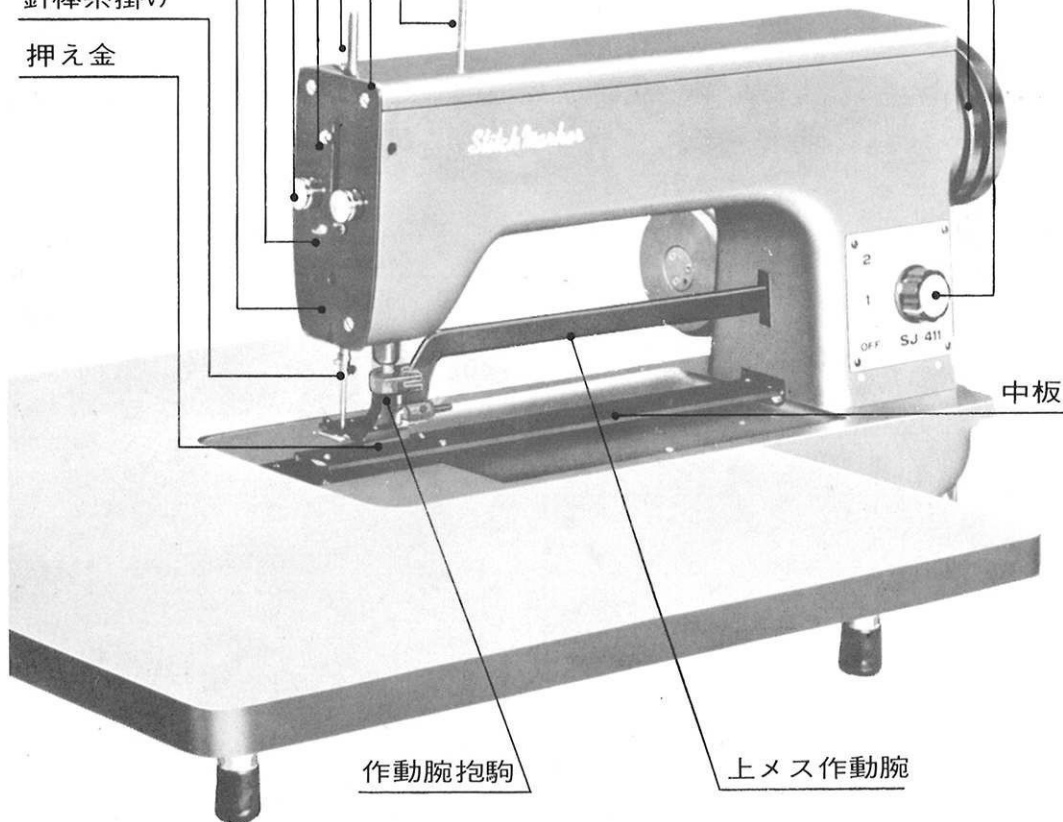
面板

針棒糸掛け

押え金

プーリー

ダイヤル



中板

作動腕抱駒

上メス作動腕

## はじめに

このたびはステッチマーカ― SJ-411型をお買上げくださいましてありがとうございます。

ステッチマーカ―は、ベテランの手の動きそのままの正確さで〈きりび〉が打てるよう、直針一本針、電気制御装置を採用した新鋭機です。

又コンパクトに設計してありますので従来の工業用ミシンの様にスペースを要しません。一般テーブルの上又裁断台のすみなどに置いてご使用下さい。

お仕事の能率向上と製品のレベルアップに、そしてお店の繁栄に末永くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

## 目次

1. ミシンのセットの仕方	2
2. 針の取りつけ方	3
3. 補助テーブルの取りつけ方	3
4. 糸のかけ方	4
5. 運転の仕方	4
6. メス及びメス受の交換の仕方	5
7. 切躰の原理	6
8. 給油	7
9. ミシンの調整の仕方	7
10. 付属品 明細	8
11. 仕様表	8
12. 配線図	9

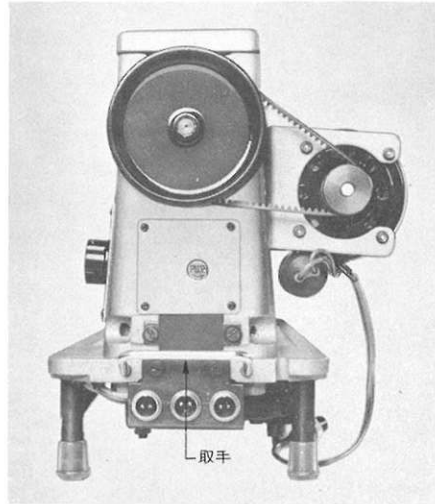
# 1 ミシンセットの仕方

## 1) 本体取扱上の注意

本体を持ちこびる場合アーム胴体とプーリーの下についている取手（1-1図）を持つようにして下さい。プーリーを強く保持しますと故障の原因となります。

## 2) 本体の設置

本機は正面（ダイヤル側）又は、側面（面板側）いずれの方向からでも使用いただけます。作業のしやすい方向を選んで使して下さい。



1-1図

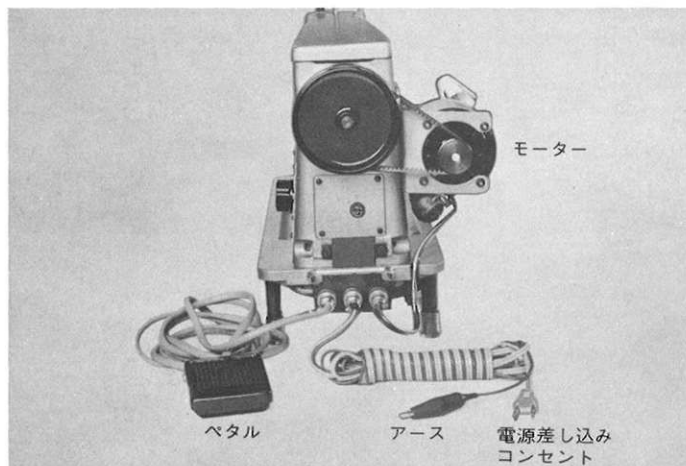
## 3) ターミナル コネクターの接続

3個のコネクターには位置決め溝がついておりますので位置を合せて各々差し込みキャップをネジ込んで完全にセットして下さい。

## 4) アースの取り方

本機は電気部品を内蔵した電動ミシンですのでアースは必ず取って下さい。

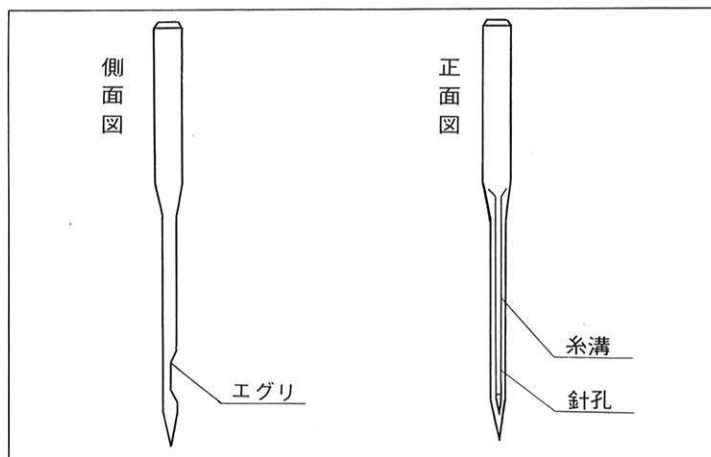
電源コネクターの緑線（アース線）の末端に付いています。クリップを水道管又は他のアース線に確実に接続して下さい。



1-2図

## 2 針の取りつけ方

- 1) このミシンはDB×1の#14#11が標準です。
- 2) 針の取りつけ方向は針の糸溝（長い溝）が面板方向から見て正面になるように合わせて奥まで差し込んで下さい。
- 3) 針止めネジは固く締めて下さい。

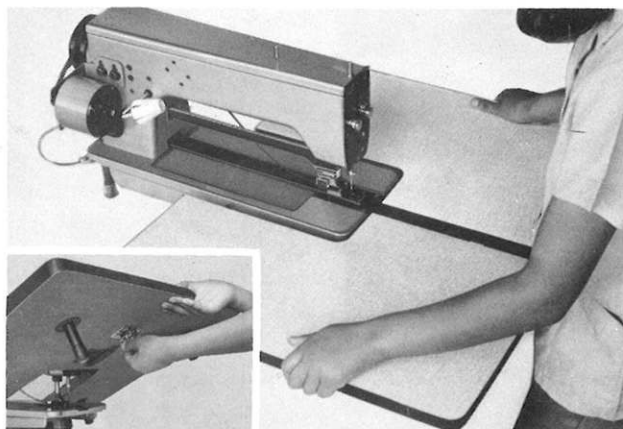


2-1図

## 3 補助テーブルの取りつけ方

補助テーブルは2枚に分れております。

- 1) 梱包箱に入っている4本の脚を各々テーブルの裏面に確実にネジ込んで下さい。
- 2) 一方のテーブルの爪を他方のテーブルの金具に半分程さし込んで下さい。
- 3) ミシンの前後にあいている孔にテーブルのピンを各々差し込んで2枚のテーブルを密着させて下さい。(3-1図)
- 4) そして引張りジョウをしめて固定して下さい。

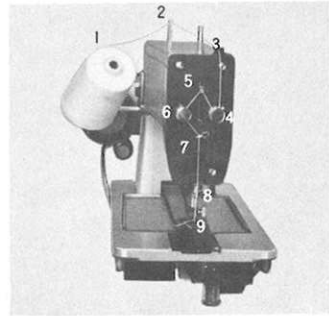


3-1図

## 4 糸のかけ方

このミシンは円錐形糸巻（4-1図参照）を使用して下さい。

- 1) 付属品のスプール受を糸立て棒に差し込んでから糸巻をセットして下さい。
- 2) 4-1図のように順番を追って糸を通して下さい。針孔にはかならず面板側から見て手前からプーリーの方向に通して下さい。
- 3) 糸立棒の方向が糸案内棒の糸通し穴に直すぐに向いているように気をつけて下さい。これが大きく違っていると、縫い調子に影響いたします。
- 4) 糸は円錐形のしろもを使用しない場合はコマ糸でも使用出来ます。



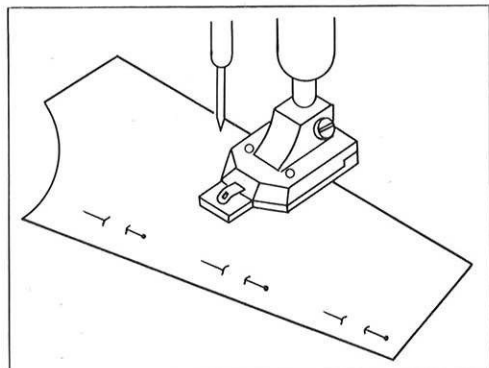
4-1図

## 5 運転の仕方

- 1) 最初に電源用差し込みコンセントを電源に差し込んで下さい。
- 2) ミシンの正面の右側についているダイヤル(5-1図)をOFFから1の目盛に合せて下さい。モーターが回転しミシンの電源が入ります。
- 3) 生地を1枚を中板の下に他の1枚を中板と押えの間に入れます。  
 ※この場合5-2図の様に2枚の生地をまち針で数か所止めますと初心者の方でも上下の生地が動く心配なく使用出来ます。  
 ※これで準備は終了しました。本番に入る前にもう一反確かめてみましょう。
- 4) ペダルを軽くふんで下さい。  
 ミシンは1回転して止り1つの切簇が形成されます。
- 5) ダイヤル目盛の使い方  
 1の目盛ではペダルをふみ続けても、ふんで離しても1ペダル1回転ですので、1針ごとにペダルをふんで下さい。  
 生地の送りは手送りですので、チャコラインにそって手で生地を送って下さい。  
 2の目盛ではペダルをふみ続けるとふんでいる間ミシンは一定の間隔で連続縫いを致します。ペダルを離すと針棒は止ります。  
 連続縫いに手作業がついてゆけるようになったら目盛2でお縫い下さい。  
 ※お仕事、操作の熟練度に合せて目盛を選んでご使用下さい。



5-1図



5-2図

## 6 メス及びメス受の交換の仕方

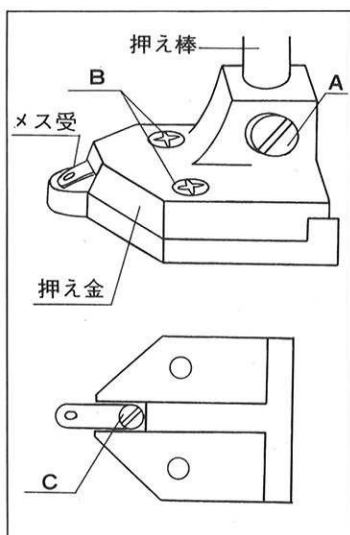
### 1) 上メス及び メス受の交換

糸の切味が悪くなったら次のようにしてメス及びメス受を交換して下さい。

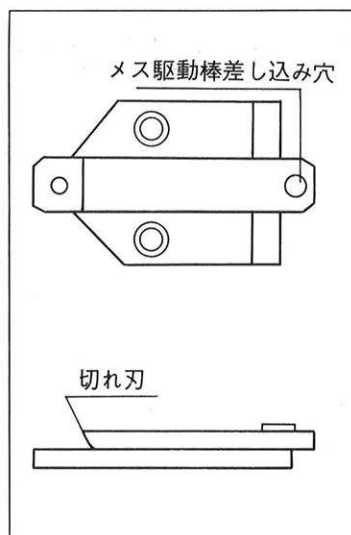
- ① 押え金を固定しているAのネジをはずして押え棒を少し持ち上げながら押え金をはずして下さい。
- ② Bのネジ2本をゆるめて押え金を上下に分離して下さい。
- ③ Cのネジをはずして切れなくなったメス受を取りはずして新しいメス受をCネジで固定して下さい。
- ④ 切れなくなったメスを取りはずして新しいメスと交換して下さい。

※メスは必ず切り刃部分を上にして取り付けして下さい。

- ⑤ 上・下の押え金を合せてBネジ2本で確実に固定して下さい。
- ⑥ 押え金を押え棒に差し込みメス駆動棒をメス後部の丸い孔に入れてAネジで固定して下さい。



6-1図



6-2図

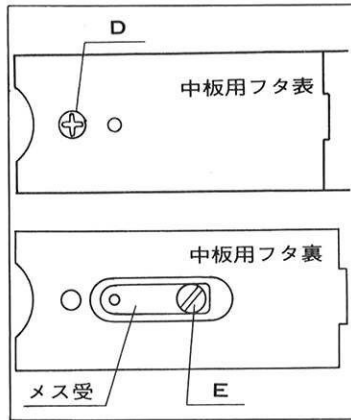
### 2) 下メス及び メス受の交換

下糸の切味が悪くなったら次のようにしてメス及びメス受を交換して下さい。

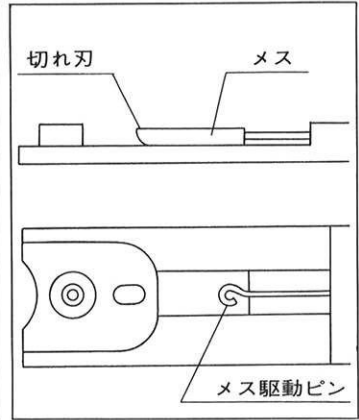
- ① 6-1図のAネジをゆるめ押え金をはずして下さい。
- ② 6-3図のDネジをゆるめて中板用フタをはずして下さい。
- ③ Eのネジをはずして切れなくなったメス受を取り外し新しいメス受をEネジで固く固定して下さい。
- ④ 切れなくなったメスを取りはずして新しいメスをメス駆動ピンの先端に差し込んで下さい。(6-4図)

※この場合メスは必ず切れ刃の部分を上にして取り付けして下さい。

- ⑤ ふたの後部の切り込みを合せてふたをしDネジを確実に固定して下さい。
- ⑥ 押え金を取り付けAネジを確実に固定して下さい。



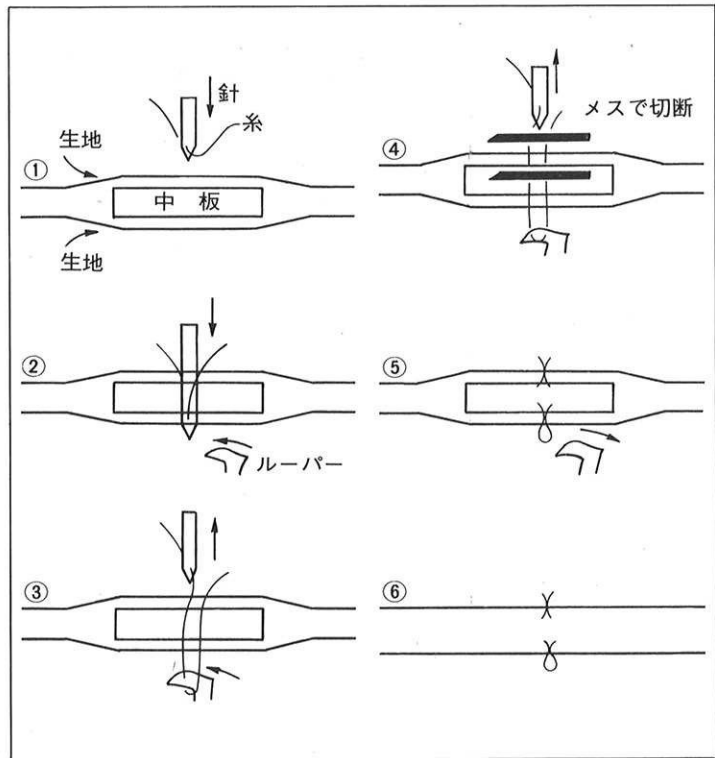
6-3図



6-4図

## 7 きりじつげの原理

ステッチ・マーカは一本の直すぐの針で上下の生地がしっかり押え金で押えてから、縫いますのでづれが出ない縫い機構です。





## 8 給油

本機は無給油で使用出来るよう設計されておりますが、上フタの2本のネジをゆるめてはずし赤印のか所には作業終了後1～2滴給油して下さい。

※稼動が1日1時間以下の場合は2～3日に作業終了後給油して下さい。

油は必要以上に給油しないで下さい。

注) 本機のベット下には電気装置が組込まれておりますのでミシンの下に物が入らないよう注意して下さい。

## 9 ミシンの調整の仕方

本機はわずらわしい調整をしないでお使いいただけるよう設計されております。

基本的な調整が行われていない場合次のような故障が起ります。

### 1) ミシンが動かない場合

○各コネクターが確実に差し込んでありますか。

○ベルトがゆるくありませんか。

(ベルトがゆるい場合モーター取付板の2本のボルトをスパナでゆるめてモーターをさげて下さい)

### 2) 糸が切れる、糸が針から抜ける場合

○糸掛けは正しいですか。

○針の取り付けは正しいですか。

○糸がどこかに引かかっていませんか。

### 3) 目とびする場合

○針が曲ったり針先がすり減っていませんか。

○針の取り付けは正しいですか。

○糸のかけ方が間違っていないですか。

○糸がどこかに引かかっていませんか。

### 4) ミシンが途中で停止した時逆回転させたい場合

○モーター用コネクターを抜いてダイヤルを1又2の目盛に合せペダルをふんで下さい。プーリーを手で回せます。

### 5) モーターが回っているのにペダルをふんでもミシンが動かない場合

① ダイヤルを1の目盛に合せた状態でプーリーが回転している事を確認します。

② ペダルをふみ続けながらダイヤルを1からOFFに切して下さい。2～3秒(プーリーが止る前)時間をおいてダイヤルをOFFから1に入れて下さい。カチンと音がして少しミシンが動きます。

③ 2～3回以上の事をくり返しますと、ペダルだけで自由にミシンが動かせる様になります。

### ※取扱注意事項

1) 針に糸を通した状態で空回ししないで下さい。糸切れが悪くなります。

2) モーターは常温 +50°迄温度が上昇しますがご心配ありません。

3) 下メス及び下メス受回りに糸クズがたまりますと糸切れが悪くなります。時々中板用フタをはずしてメス・メス受回りを付属のブラシで掃除して下さい。

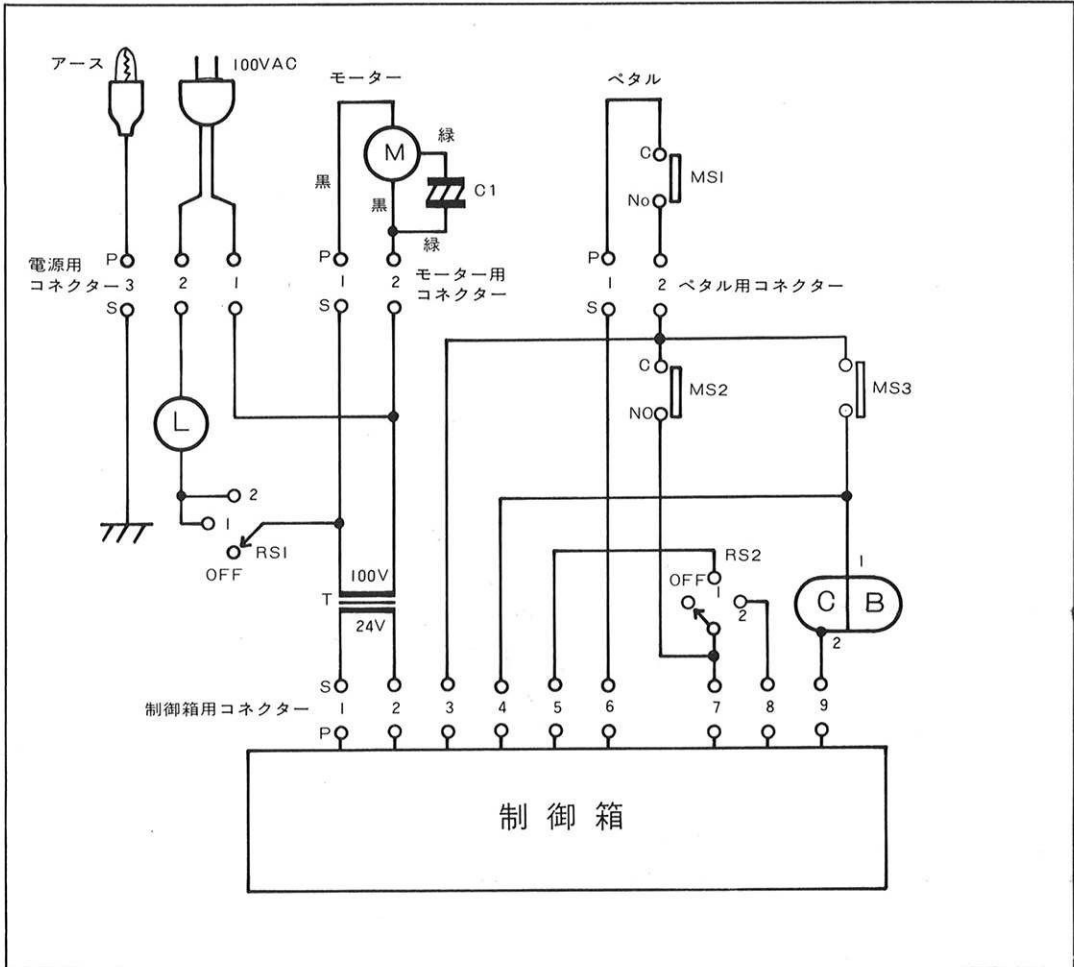
# 10 付属品明細

- |                   |        |                          |                           |   |
|-------------------|--------|--------------------------|---------------------------|---|
| 1. アクセサリー<br>ボックス | ①      | ＋ドライバー(小)                | 1                         |   |
|                   | ②      | －ドライバー(小)                | 1                         |   |
|                   | ③      | －ドライバー(大)                | 1                         |   |
|                   | ④      | 両口スパナ                    |                           |   |
|                   |        | {                        | 8 <sup>m</sup> 中板高さ調整用    |   |
|                   |        | {                        | 13 <sup>m</sup> モーター高さ調整用 | 1 |
|                   | ⑤      | ピンセット                    |                           |   |
|                   | ⑥      | 針 (DB×1 #14)             | 3本                        |   |
|                   | ⑦      | 油差し (30cc入り)             | 1                         |   |
|                   | ⑧      | 上メス                      | 1                         |   |
|                   | ⑨      | 下メス                      | 1                         |   |
|                   | ⑩      | メス受け                     | 2                         |   |
| ⑪                 | ブラシ    | メス・メス受回りの<br>(糸のきりくず掃除用) | 1                         |   |
| ⑫                 | スプール受け |                          | 1                         |   |
2. 補助テーブル式
3. 電源コード
4. ペタル
5. 頭部カバー
6. 使用説明書
7. 検査合格証

# 仕様表

縫方式	直針1本針特殊縫
糸切装置	上・下メス組込糸切断方式
押え上り量	4 <sup>m</sup> ・4 <sup>m</sup>
使用針	DB×1 #11 #14 (標準)
使用糸	一般しつけ糸(しろも) #40~#60
布送り	八方手送り式
駆動方式	ペタル式
使用範囲	紳士服・婦人服からオーバーまで
使用電源	100V単相・60W

# ステッチマーカ配線図



記号	名称	記号	名称
M	モーター	MS 2	停止用マイクロスイッチ
C 1	モーター用コンデンサー	MS 3	メス作動用マイクロスイッチ
L	電源用ブレーカー	C	クラッチ用コイル
T	トランス	B	ブレーキ
RS 1	電源用ロータリースイッチ		
RS 2	単連縫切換ロータリースイッチ		
MS 1	スタート用マイクロスイッチ		

